



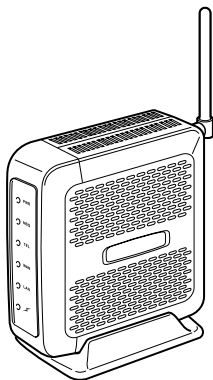
N900iLご利用ガイド



WIRELESS BROADBAND VoIP ROUTER

SR-53V

IP電話/[IEEE802.11a(W52/W53)/b/g]規格対応



Icom Inc.

登録のしかた

1

内線設定について

2

機能を利用する

3

WLANブラウザを利用する

4

はじめに

本書では、NTTドコモ社製のFOMA® N900iLを内線電話としてご使用いただくため、SR-53V側の設定と、電話機本体の内線設定について説明しています。

※ 本書では、ご契約のプロバイダーへのインターネット接続設定、SIP設定などがされているものとして説明します。

表記について

本書は、次の表記規則にしたがって記述しています。

- 「 」 表記：オペレーティングシステム(OS)の各ウィンドウ(画面)、ユーティリティ、設定画面の各メニューとそのメニューに属する設定画面の名称を(「 」)で囲んで表記します。
- [] 表記：タブ名、アイコン名、テキストボックス名、チェックボックス名、各設定画面の設定項目名を([])で囲んで表記します。
- < > 表記：ダイアログボックスのコマンドボタンなどの名称を(< >)で囲んで表記します。

※ 本書では、設定例として、SR-53V ver1.00の画面を使用して説明しています。

※ 本書では、紙面上の都合により、設定画面の一部を省略して掲載しています。

※ 本書で掲載しているFOMA端末の画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。

※ 本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

本書では、「FOMA® N900iL」を「FOMA端末」と表記させていただいております。
あらかじめご了承ください。

ご使用までの流れ

FOMA端末を設定されるときは、次の手順にしたがってお読みください。

順番に基本的な設定ができる構成になっています。

※各手順の右端に記載する数字は、本書の参照ページです。

第1章

登録のしかた(SR-53V側の設定)

5～13ページ



第2章

内線設定について(FOMA端末ごとの設定)

15～23ページ



第3章

機能を利用する

25～39ページ



第4章

WLANブラウザを利用する

41～53ページ

【ご注意】 電話設定(☎2章)を完了するまで、内線電話として使用できません。

※設定をはじめる前に、SR-53Vの電源が入っていることを確認してください。

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、iCOMは、アイコム株式会社の登録商標です。Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本文中の画面の使用に際して、米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

FOMA、i-modelは、株式会社NTTドコモの登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。



この章では、
FOMA端末を内線電話としてご利用いただくため、SR-53V側の基本的な設定について
説明しています。

Step ①	内線電話について	6
Step ②	設定項目について	7
Step ③	設定画面を表示する	8
Step ④	電話設定	8
	1. 内線ドメイン	8
	2. 子機内線設定	9
Step ⑤	ネットワーク設定	11
Step ⑥	無線LAN設定	12
	1. 無線LAN設定	12
	2. 暗号化設定/WEPキー設定	13

【FOMA端末のご利用について】

FOMA端末をSR-53Vの子機として登録する場合、次の番号は「FOMAネットワークへの発信」になるため、内線番号として使用できません。

◎緊急通報番号(110、119、118)

◎FOMA端末の特番(000、08、112、911、999)

1 登録のしかた

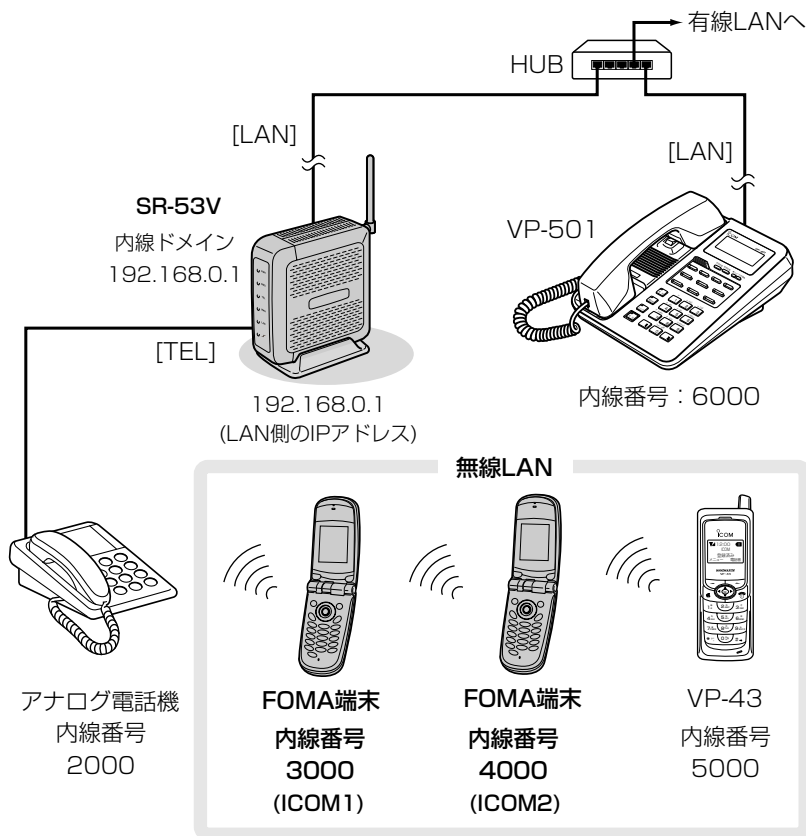
Step 1 内線電話について

FOMA端末ごとに、「内線番号」と「パスワード」の設定が必要です。

ご使用の環境で、重複しないように構築してください。

本書では、SR-53Vの子機として、アナログ電話機、VP-501、VP-43とFOMA端末を登録した場合(下図)を例に、FOMA端末の内線設定について説明しています。

- 設定例は、FOMA端末をIPアドレスの自動取得(出荷時の設定)で使用している場合です。



内線番号について、次のように設定することをおすすめします。

- 半角数字で3～7桁の番号にする
- 「100」や「108」など、「1」ではじまる番号を使用しない
- 「0」ではじまる番号を使用しない

※FOMA端末の操作、機能については、FOMA® N900iL取扱説明書を併せてご覧ください。

Step 2 設定項目について

FOMA端末を登録するため、SR-53V側で確認および設定する項目です。

■ 登録するために必要な設定項目※1

「電話設定」メニュー	「簡易サーバ設定」画面 (P8)	簡易中継サーバ設定	内線ドメイン
		子機内線設定	名前
			内線番号
			パスワード
「ネットワーク設定」メニュー	「LAN側IP設定」画面 (P11)	本体名称/IPアドレス設定	CGI認証
			IPアドレス
「無線LAN設定」メニュー	「無線LAN設定」画面 (P12)	無線LAN設定	SSID
			チャンネル
	「暗号化設定」画面 (P13)	暗号化設定	暗号化方式
			キーインデックス
			入力モード
			WEPキー

※1 上記の内容は、FOMA端末の設定(P2章)にも必要ですので、メモを取るなどしてご使用ください。

1

■ 必要に応じて設定する項目 (詳しくは、本製品の取扱説明書[活用編]をご覧ください。)

「電話設定」メニュー		
「簡易サーバ設定」画面	簡易中継サーバ設定	転送切り戻り時間(鳴動時間)
		パークリコール時間(リコール試行時間)
		多機能電話設定※2
	特番設定	パークプレフィクス(パーク保留/パーク応答)
	子機内線詳細情報設定※3	外線番号1/2(不在転送先)
		不在転送先設定
		E-Mailアドレス1/2(iモードメールアドレスなど)
	メール通知転送設定	IMでの通知機能/IMからの迂回機能
		メール転送機能
		転送先メールアドレス
		メールフィルタ
「位置情報設定」画面	位置情報設定※4	登録の追加(MACアドレス)

※2 <設定ウィンドウを開く>をクリックすると、別画面を表示します。

※3 子機内線設定の[現在の登録]<詳細>をクリックすると、別画面を表示します。

※4 「システム設定」メニューの「位置情報通知設定」画面も併せて設定します。(P4-2章)

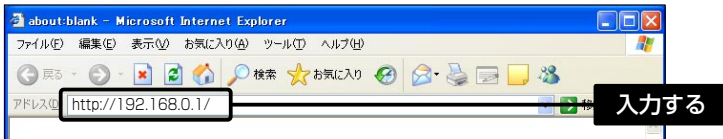
■ は、FOMA端末ごとに設定する項目です。

1 登録のしかた

Step 3 設定画面を表示する

SR-53V側の設定には、Internet ExplorerなどのWWWブラウザを使用できるパソコンが必要です。

- 1 WWWブラウザを起動します。
- 2 本製品のLAN側IPアドレスをWWWブラウザのアドレスバーに入力します。



- 3 [Enter]キーを押します。
本製品の設定画面が表示されます。

Step 4 電話設定

1. 内線ドメイン

「電話設定」→「簡易サーバ設定」

[簡易中継サーバ設定]項目で、**内線ドメイン**を設定します。

登録 取消	
簡易中継サーバ設定	
内線ドメイン	192.168.0.1
デフォルト着信内線番号	
転送切り戻り時間	20 秒 鳴動時間: 30 秒
パークリコール時間	180 秒 リコール試行時間: 0 分
多機能電話設定	設定ウィンドウを開く
特番設定	
内線一斉発信番号	
コールバックアップ(代理応答)	

②クリック
①設定する

ドメイン名について

- 実在のドメイン名を設定しないでください。
- 簡易中継サーバとして利用するSR-53Vごとに、個別のドメイン名を設定してください。
- ネットワークドメインとは関係ありませんので、任意の半角英数字(例: icom.net)を設定してください。
- FOMA端末の「移動機SIPアドレス設定」に文字数の制限がありますので、内線ドメインの文字数は「42文字以内」をおすすめします。

Step 4 電話設定

2. 子機内線設定

「電話設定」→「簡易サーバ設定」→「子機内線設定」

[子機内線設定]項目で、登録するFOMA端末ごとに設定します。

1 [子機内線設定]項目で、名前を設定します。

設定できる文字数は、半角31(全角15)文字までです。

子機内線設定	
番号	1 追加
名前	ICOM1
内線番号	
グループ番号	
パスワード	
発信設定	SIPサーバ 1 ▼
	Peer to Peer 1 ▼
電話回線へ自動迂回	する ▼
CGI認証	ID: パスワード:
個人識別情報	ser:

入力する

- 「番号」が空白のときは、自動的に使われていない小さい番号(1～20)になります。

2 [子機内線設定]項目で、内線番号を設定します。

設定できる文字数は、半角数字7桁までです。

子機内線設定	
番号	1 追加
名前	ICOM1
内線番号	3000
グループ番号	
パスワード	
発信設定	SIPサーバ 1 ▼
	Peer to Peer 1 ▼
電話回線へ自動迂回	する ▼
CGI認証	ID: パスワード:
個人識別情報	ser:

入力する

3 [子機内線設定]項目で、パスワードを設定します。

設定できる文字数は、半角英数字31文字までです。

名前	ICOM1
内線番号	3000
グループ番号	
パスワード	
発信設定	SIPサーバ 1 ▼
	Peer to Peer 1 ▼
電話回線へ自動迂回	する ▼
CGI認証	ID: パスワード:
個人識別情報	ser:

入力する

- 入力したパスワードは、すべて「* (アスタリスク)」または「●(黒丸)」で表示されます。

1 登録のしかた

Step

4

電話設定

2. 子機内線設定

「電話設定」→「簡易サーバ設定」→「子機内線設定」

4

[子機内線設定]項目で、**CGI認証**を設定します。

設定できる文字数は、それぞれ半角英数字8文字までです。

子機内線設定	
番号	1 追加
名前	ICOM1
内線番号	3000
グループ番号	
パスワード	****
発信設定	SIPサーバ 1 ▼
	Peer to Peer 1 ▼
電話回線へ自動迂回	する ▼
CGI認証	ID: 3000 パスワード: ****
個体識別情報	ser:

入力する

- 入力したパスワードは、すべて「* (アスタリスク)」または「● (黒丸)」で表示されます。

5

[子機内線設定]項目の**追加**をクリックします。

6

[現在の登録]項目で、**登録内容を確認**します。

現在の登録								
	番号	名前	内線番号	グループ番号	発信設定 (SIPサーバ)	発信設定 (Peer to Peer)	電話回線へ自動迂回	CGI認証 ID
編集	削除	1	ICOM1	3000	1	1	する	3000
編集	削除	2	ICOM2	4000	1	1	する	4000
編集	削除	3	VP43	5000	1	1	する	
編集	削除	4	VP501	6000	1	1	する	

確認する

- <編集>をクリックすると、[子機内線設定]項目で登録内容を変更できます。
- <削除>をクリックすると、登録内容を削除します。

CGI認証について

- FOMA端末のWLANブラウザより、SR-53Vの「サービスメニュー」にログインするためのIDとパスワードです。
- FOMA端末のCGI認証を「空白(設定なし)」または個体識別情報を設定していると、その端末のWLANブラウザからSR-53Vの「サービスメニュー」は利用できません。
- FOMA端末の個体識別情報を設定すると、その端末のiモードからだけSR-53Vの「サービスメニュー」を利用できます。

Step 5 ネットワーク設定**本体名称/IPアドレス設定**

「ネットワーク設定」→「LAN側IP設定」

[本体名称/IPアドレス設定]項目で、**IPアドレス**を確認します。

登録	取消	登録して再起動	本体IPアドレス/サブネットマスクの設定は再起動後に有効になります。
本体名称/IPアドレス設定			
本体名称	SR-53V		
IPアドレス	192.168.0.1		
サブネットマスク	255.255.255.0		
プライマリDNSサーバ			
セカンダリDNSサーバ			
DHCPサーバ設定			
DHCPサーバ機能を使用	☐ しない	☒ する	

確認する

1

IPアドレスについて

- 出荷時や全設定を初期化したとき、SR-53VのLAN側IPアドレスは「192.168.0.1」です。
初期化によって、FOMA端末に設定されたIPアドレス(SIPサーバ)と異なるときは接続できなくなりますので、必要に応じて設定を変更してください。
- 本書では、FOMA端末をIPアドレスの自動取得(出荷時の設定)にしている場合を例にしています。
固定IPアドレスでご使用の場合、設定については、FOMA® N900iL取扱説明書をご覧ください。

1 登録のしかた

Step 6 無線LAN設定

1. 無線LAN設定

「無線LAN設定」→「無線LAN設定」

[無線LAN設定]項目で、SSIDの設定とチャンネルの確認をします。

1 [無線LAN設定]項目で、SSIDを設定します。

(出荷時の設定：LG)

設定できる文字数は、半角英数字31文字までです。

無線LANの暗号化機能が設定されていません。
安心してご使用いただくため、設定されることを強くおすすめします。

このページの設定は再起動後に有効になります。

BSSID	
00-90-C7- XXXXXXXXXX	
無線LAN設定	
無線LANを使用	☐ しない ☒ する
SSID	foma
ANY接続拒否	☒ しない ☐ する
WMMを使用	☒ しない ☐ する
XRを使用	☒ しない ☐ する
チャンネル	11 (2462MHz) W53チャンネル(52～64チャンネル)を使用する場合DFS機能により再起動する場合があります。VoIP機能と併用する場合は通話が切断されますのでご注意ください。
Rts/Ctsスレッシュホールド	なし
11g保護機能	有効
11gベーシックレート	802.11b
パワーレベル	高
接続端末制限	63
ビーコン間隔	100 ミリ秒
DTIM間隔	1
Super AGを使用	☒ しない ☐ する

入力する

入力する文字列は、
大文字/小文字の区別
にご注意ください。

2 [無線LAN設定]項目で、チャンネルを確認します。 (出荷時の設定：11(2462MHz))

FOMA端末は、[IEEE802.11a]規格の36～64チャンネルに対応していません。

3 「無線LAN設定」画面の<登録>をクリックします。

「無線LAN設定」画面で変更した設定内容を確認します。

SSIDについて

- 無線ルータや無線アクセスポイントが無線伝送可能領域内に複数存在しているような場合、個々の無線ネットワークグループを[SSID(無線ネットワーク名)]で識別できます。
- 異なる[SSID]を設定している無線LAN端末とは通信できません。
- FOMA端末では、[SSID]を[ESSID]と表記しています。

Step 6 無線LAN設定

2. 暗号化設定/WEPキー設定

「無線LAN設定」→「暗号化設定」

暗号鍵(キー)を設定します。

(設定例：暗号化方式「WEP RC4 128(104)」の場合)

- 1 [暗号化設定]項目で、**暗号化方式**を設定します。
安心してご使用いただくため、必ず暗号化設定をしてください。

無線LANの暗号化機能が設定されていません。
安心してご使用いただくため、設定されることを強くおすすめします。

このページの設定は再起動後に有効になります。
再起動が必要な項目が変更されています。

暗号化設定

ネットワーク認証	オープンシステム・共有キー
暗号化方式	WEP RC4 128(104)
PSK (Pre-Shared Key)	半角英数で8-63文字、または16進数で64桁を入力。
キー更新間隔	120 分
キージェネレータ	
キーインデックス	1

WEPキー

入力モード	☒ 16進数 ☐ ASCII文字 26桁
1	00-00-00-00-00

出荷時の設定であることを確認します。

選択する

- 暗号化方式「WEP RC4 128(104)」をおすすめします。

- 2 [暗号化設定]項目で、**キーインデックス**を確認します。 (出荷時の設定：1)
●「1」以外の場合は、FOMA端末と接続できなくなりますのでご注意ください。

- 3 [WEPキー]項目で、**入力モード**を確認します。 (出荷時の設定：16進数)

- 4 「暗号化設定」画面の<登録>をクリックします。

- 5 [WEPキー設定]項目で、**インデックス「1」**のテキストボックスに**WEPキー**を入力します。 (入力例：11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11)

キーインデックス	1
----------	---

WEPキー

入力モード	☒ 16進数 ☐ ASCII文字 26桁
1	11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11

入力する

- 6 <登録して再起動>をクリックします。
本製品を再起動して、設定画面で変更したすべての設定内容を有効にします。

基本的な設定が完了したら

必要に応じて、本製品の取扱説明書[活用編](CD版)をご参考に、各機能の詳細な設定をしてください。



この章では、

FOMA端末を内線電話としてご利用いただくため、電話機本体の設定について説明しています。

Step ①	設定項目について	16
Step ②	設定画面を開く	17
Step ③	無線LANを設定する	17
	1. プロファイル名設定	17
	2. ESSID・通信チャネル設定	18
	3. セキュリティ方式設定	19
	4. SIPサーバ設定	20
	5. SIPシーケンス設定	21
	6. ユーザ設定	21
Step ④	共通設定を変更する	22
Step ⑤	Scan方式を設定する	22
Step ⑥	設定を完了する	23

2 内線設定について

Step 1 設定項目について

FOMA端末の「ネットワーク設定」で、次の項目を設定します。

※設定を完了するまで、内線電話機として利用できませんのでご注意ください。

※FOMA端末の設定をはじめる前にSR-53V側の設定を完了してください。

無線LAN設定

プロファイル名設定*1		任意の半角16(全角8)文字まで
ESSID設定		SSID*2
通信チャネル設定		Auto(1-14)
セキュリティ方式設定		WEPキー*2
SIPサーバ設定	移動機SIPアドレス設定*3	内線番号@内線ドメイン*2 (例：3000@192.168.0.1)
サーバ設定	IP-PBXサーバ	LAN側IPアドレス*2
	Registerサーバ	LAN側IPアドレス*2
	プレゼンスサーバ	LAN側IPアドレス*2
SIPシーケンス設定		基本内線固定
ユーザ設定	ID	内線番号*2
	パスワード	パスワード*2

Scan方式設定

指定Scan	優先接続先設定	無線LAN設定で作成したプロファイル
--------	---------	--------------------

共通設定

Scanタイプ設定	Scanタイプ設定	ACTIVE
-----------	-----------	--------

※1 設定したプロファイル名は、Scan方式設定画面で表示されます。

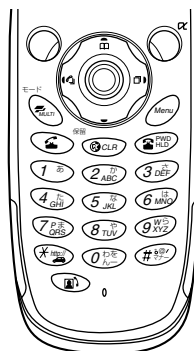
※2 SR-53V側の設定内容と異なる場合は、内線電話機として利用できません。

※3 「@」を含めて半角英数字50文字まで設定できます。

操作ボタンについて

画面のガイダンスにしたがって、FOMA端末のボタンを操作します。
本書では、次のようにボタンを表記します。

-  入力した内容を削除する、または1つ前の画面に戻るとき押します。
-  項目を選択するとき押します。
-  入力した内容を確定する、または項目の選択を確定するとき押します。
-  設定を完了するとき押します。



※ボタンについて、詳しくはFOMA® N900iL取扱説明書[基本編]をご覧ください。

Step 2 設定画面を開く

FOMA端末の設定をはじめめる前に、SR-53Vの電源が入っていることをご確認ください。

1 「メインメニュー」→「各種設定」→「ネットワーク設定」を選択します。

- 「ネットワーク設定」画面を表示します。

2 「無線LAN暗証番号」を入力します。

- 「設定参照/変更」画面を表示します。



Step 3 無線LANを設定する

2

1. プロファイル名設定

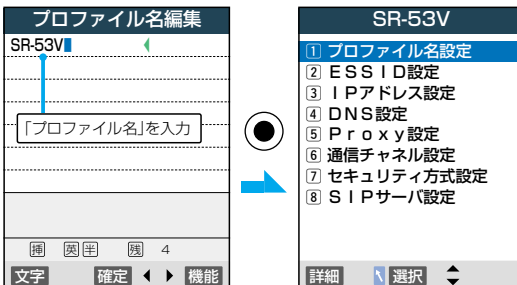
使用できる文字は「絵文字」以外で、任意の半角16(全角8)文字まで入力できます。

1 「無線LAN設定」→「プロファイル01」→「プロファイル名設定」を選択します。

- 「プロファイル名編集」画面を表示します。

2 「プロファイル名」を入力します。

- プロファイル名を確認します。

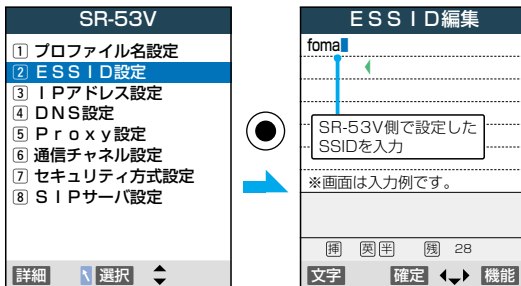


2 内線設定について

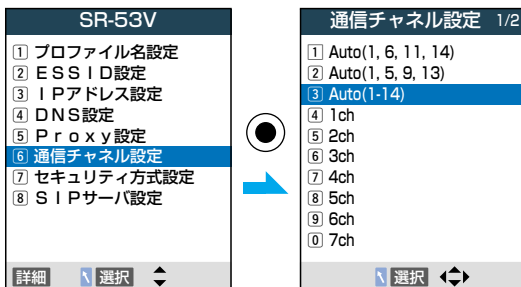
Step 3 無線LANを設定する

2. ESSID・通信チャネル設定

- 1 「ESSID設定」→「ESSID編集」で、SSIDを入力します。



- 2 「通信チャネル設定」→「Auto(1-14)」を選択します。



ESSIDについて

- 「ESSID」と「SSID」は、同じ意味で使用しています。
- 大文字/小文字に注意して、SR-53Vと同じ設定にしてください。
文字編集画面での入力について、詳しくはFOMA® N900iL取扱説明書[基本編]をご覧ください。

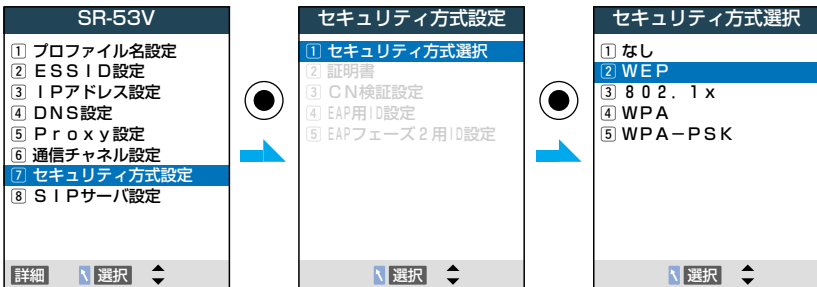
チャネルについて

- 「チャネル」と「チャンネル」は、同じ意味で使用しています。
- FOMA端末は、[IEEE802.11a]規格のチャネルに対応していません。
- SR-53Vは、「14ch」に対応していません。

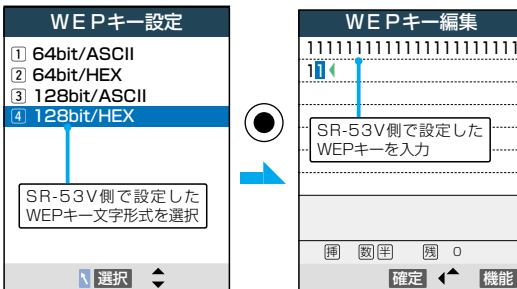
Step 3 無線LANを設定する

3. セキュリティ方式設定

- 1** 「セキュリティ方式設定」→「セキュリティ方式選択」→「WEP」を選択します。
 ●「WEPキー設定」画面を表示します。



- 2** 「128bit/HEX」→「WEPキー編集」で、WEPキーを入力します。



セキュリティ方式について

- 「セキュリティ」と「暗号化」は、同じ意味で使用しています。
- 安心してご利用になるために、必ず暗号化設定をしてください。
- セキュリティ方式やWEPキーは、SR-53Vと同じ設定にしてください。
 WEPキーの入力について、詳しくはFOMA® N900iL取扱説明書[基本編]をご覧ください。

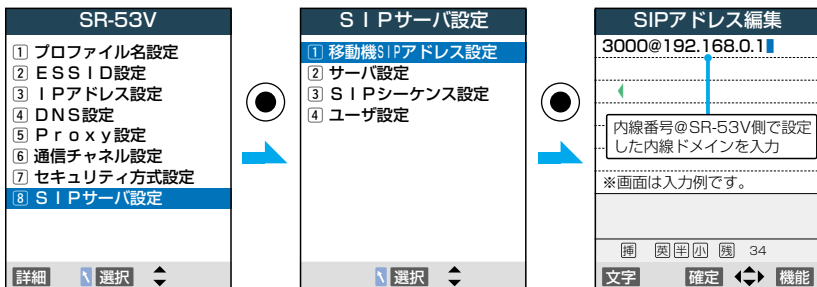
2 内線設定について

Step 3

無線LANを設定する

4. SIPサーバ設定

- 1 「SIPサーバ設定」→「移動機SIPアドレス設定」→「SIPアドレス編集」で、アドレスを入力します。



- 2 「サーバ設定」→「IP-PBXサーバ」→「IPアドレス」を選択します。

●「サーバアドレス編集」画面を表示します。

- 3 「IP-PBXサーバアドレス」を入力します。

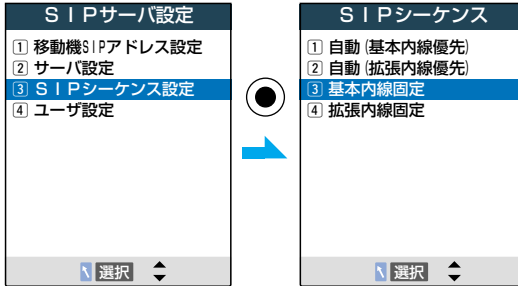


- 4 [Registerサーバ]、[プレゼンスサーバ]を同様に設定します。

Step 3 無線LANを設定する

5. SIPシーケンス設定

「SIPシーケンス設定」→「基本内線固定」を選択します。



6. ユーザ設定

1 「ユーザ設定」→「ID」→「SIPユーザID編集」で、IDを入力します。



2 「パスワード」→「SIPパスワード編集」で、パスワードを入力します。

- SR-53V側で設定したパスワードと異なる場合は、内線電話機として利用できません。

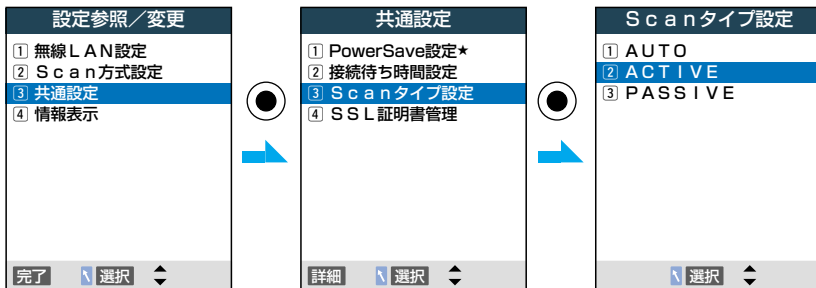
3 (CLR) を3回押して、「設定参照/変更」に戻ります。

2 内線設定について

Step 4 共通設定を変更する

Scanタイプ設定

「共通設定」→「Scanタイプ設定」→「ACTIVE」を選択します。



★ FOMA端末のPowerSave設定を「有効」にする場合、無線アクセスポイント側のDTIM間隔を「1～10」に設定してください。

Step 5 Scan方式を設定する

プロフィール選択

1 [Scan方式設定] → [指定Scan]を選択します。

●「優先接続先設定」画面を表示します。

2 「プロフィール選択」を設定します。



3 を押して確定します。

プロフィールについて

無線アクセスポイントまたは無線ルータを、「優先接続先設定」で指定した順にスキャンします。

Step 6

設定を完了する

接続の確認

作成したプロファイルでSR-53Vに接続します。

「設定参照/変更」画面で、「完了」を選択します。



2

接続できないときは

「Wi||SIP」を表示しないときは、FOMA端末は内線電話として使用できません。設定内容などを確認してください。

Wi||SIP

12/16(木) 12:05



この章では、
転送機能、パーク機能など、内線電話の機能について説明しています。

① 転送機能を使う	26
A 転送先の応答を確認して転送する	26
B 転送先の応答を確認しないで転送する	27
■ 転送切り戻り時間	28
② パーク機能を使う	29
■ パーク保留する(転送元)	29
■ パーク応答する(転送先)	31
③ プレゼンス機能を使う	32
■ メンバーを登録する	32
■ 位置情報機能を設定する	36
④ 各機能の制約について	38

3 機能を利用する

1 転送機能を使う

A 転送先の応答を確認して転送する

保留中の相手の内線番号「2000」、転送先の内線番号「4000」を例に、説明しています。

※詳しくは、FOMA® N900iL取扱説明書[基本編]をご覧ください。

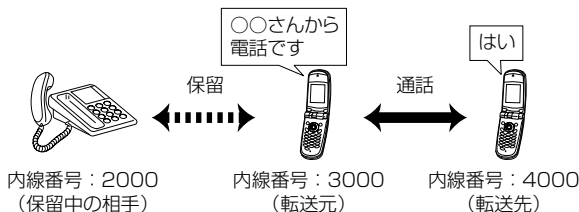
1 通話中に **CLR** を押します。

- 相手に保留音が流れます。

2 転送先をダイヤルします。

- 転送先が呼び出されます。

3 転送先が応答したら、**CLR** を押します。



- 転送先と保留中の相手が通話できます。

※転送を中止して、元の通話に戻る場合は、**CLR** を押します。
このとき、切断される相手には、保留音(1～2秒間)が流れます。



(転送元の画面表示例)

転送できなかったときは

SR-53V側に設定した「転送切り戻り時間」(※P28)内に転送先が応答しないなど、転送できなかったときは、元の通話に戻ります。

1 転送機能を使う

B 転送先の応答を確認しないで転送する

保留中の相手の内線番号「2000」、転送先の内線番号「4000」を例に、説明しています。

※詳しくは、FOMA® N900iL取扱説明書[基本編]をご覧ください。

1 通話中に **CLR** を押します。

- 相手に保留音が流れます。

2 転送先をダイヤルします。

- 転送先が呼び出されます。

3 呼び出し中に **MR** を押します。

- 転送元は、待受画面に戻ります。
- 転送先は、保留中の相手から直接呼び出されている状態になります。

※保留中の相手には、応答されるまで保留音が流れます。



(転送元の画面表示例)

転送できなかったときは

SR-53V側に設定した「転送切り戻り時間」(※P28)内に転送先が応答しないなど、転送できなかったときは、転送元のFOMA端末に着信します。

※転送元のFOMA端末が通話中などで着信できないとき、保留中の通話は切断されます。



(転送元の画面表示例)

3 機能を利用する

1 転送機能を使う

■ 転送切り戻り時間

「電話設定」メニュー → 「簡易サーバ設定」

内線電話からの転送に失敗したとき、元の通話に戻るまでの時間です。

1 [簡易中継サーバ設定]項目で、転送切り戻り時間を設定します。

設定できる範囲は、「0～99」秒です。

(出荷時の設定：20秒)

登録 取消	
簡易中継サーバ設定	
内線ドメイン	192.168.0.1
デフォルト着信内線番号	
転送切り戻り時間	20 秒
鳴動時間	30 秒

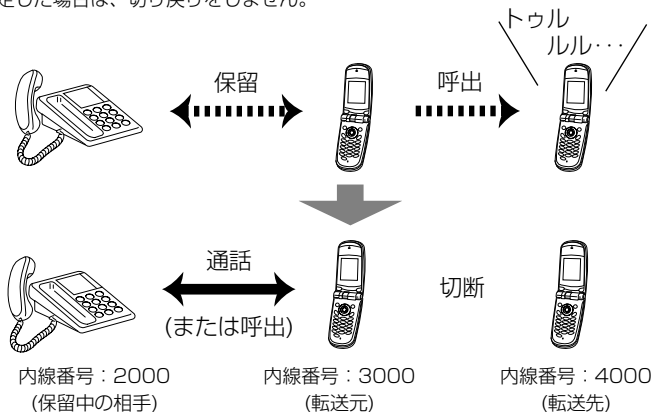
設定する

2 「簡易サーバ設定」画面の〈登録〉をクリックします。

通話を保留して、他の内線電話機に転送する場合、SR-53V側で設定した時間が経過すると、下図のように切り戻りをします。

切り戻りをした場合、「鳴動時間」が経過すると通話を切断します。

※「0」秒を設定した場合は、切り戻りをしません。



転送切り戻り機能の制約について

- アナログ電話回線へ転送した場合は、切り戻りをしません。
転送を中止して、元の通話に戻る場合は、**CLR**を押します。
このとき、切断される相手には、保留音(1～2秒間)が流れます。
- IP電話へ発信する場合は、発信先によって切り戻りをしない場合があります。

2 パーク機能を使う

通話をパーク保留すると、どの内線電話機からも保留中の電話に出られるようになる機能です。

※SR-53V側の「パークプレフィクス(パーク保留/応答)」設定が必要です。(※活用編)

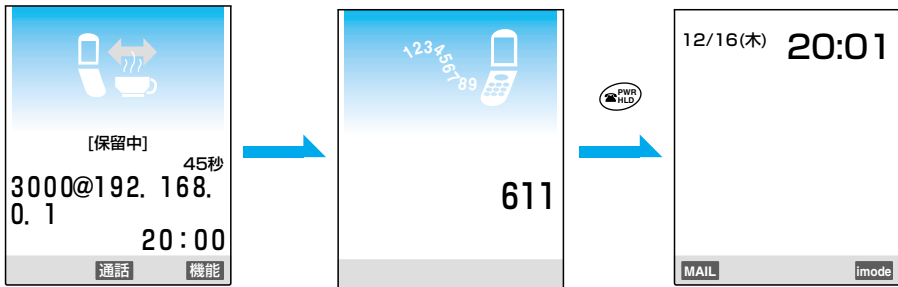
■ パーク保留する(転送元)

パーク保留特番として、パーク保留プレフィクス「61」+パーク番号「1」を例に説明しています。

※パーク保留は、2とおりの操作があります。

1. すぐに通話を切断する場合

※この手順でパーク保留に失敗した場合、転送切り戻り動作になります。(転送切り戻り設定時のみ)



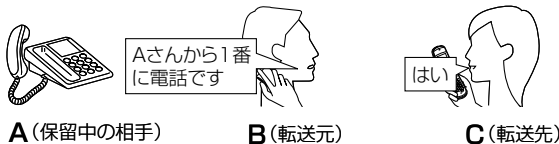
1 通話を保留し、パーク保留特番「61」+「1」をダイヤルします。

- 相手に保留音が流れます。

2 通話を切断します。

- 待受画面表示に戻ります。

3 パーク番号「1」を転送先に直接伝えます。



パーク保留できなかったときは

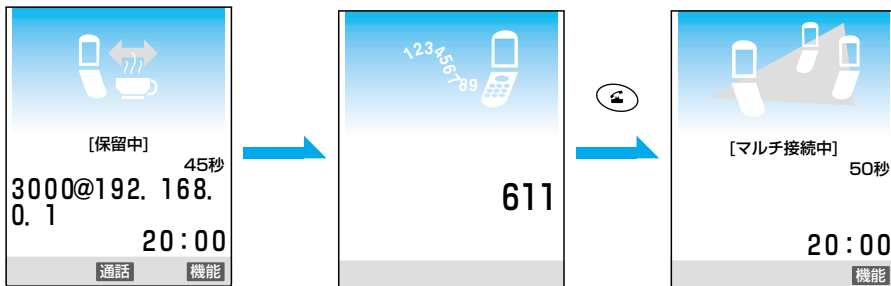
転送元の受話口から「ツー、ツー」が聞こえますので、保留を解除して元の通話に戻ります。

3 機能を利用する

2 パーク機能を使う

■ パーク保留する(転送元)

2. 確認してから切断する場合



1 通話を保留し、パーク保留特番「61」+「1」をダイヤルします。

- 相手に保留音が流れます。

2 を押します。

- 保留が成功すると、受話口から「エリーゼのために」が聞こえます。

3 を押します。

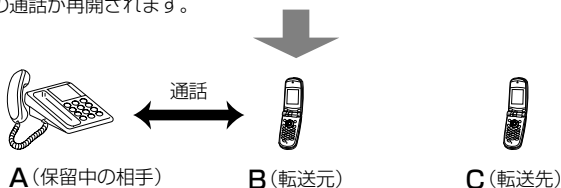
- 待受画面表示に戻ります。

4 パーク番号「1」を転送先に直接伝えます。



パーク保留できなかったときは

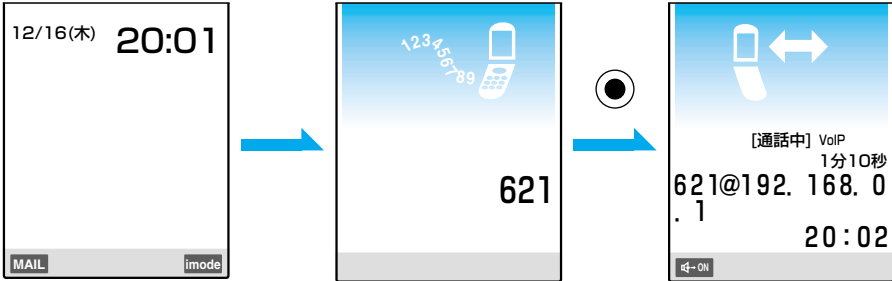
保留中の相手との通話が再開されます。



2 パーク機能を使う

■ パーク応答する(転送先)

パーク応答特番として、パーク応答プレフィックス「62」+パーク番号「1」を例に説明しています。



パーク応答プレフィックス「62」+伝えられたパーク番号「1」をダイヤルします。

パーク応答できなかったときは

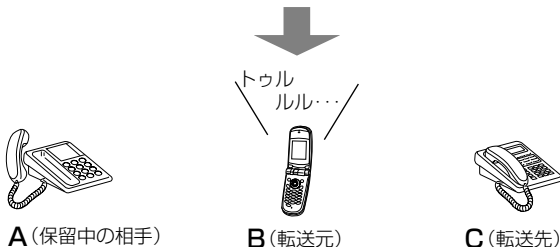
- 転送先の受話口から「ツー、ツー」が聞こえます。
 - 設定時間内に応答しなかったときは、転送元の電話機にリコール(再呼出)します。
(出荷時の設定：180秒)
- 「**PARK(パーク番号)**」と転送元のディスプレイに表示されます。

リコールした場合は、下記のようになりますのでご注意ください。

- リコール開始から設定したリコール試行時間が経過しても、転送元が通話中のときは、保留中の通話は切断されます。
- 転送元に着信後、応答せず着信をキャンセルした場合は、約1分半経過すると、保留を解除して通話を切断します。

※設定時間(パークリコール時間、リコール試行時間)は、SR-53Vで設定します。

設定時間内にパーク応答できなかったときは、転送元に着信します。



3 機能を利用する

3 プレゼンス機能を使う

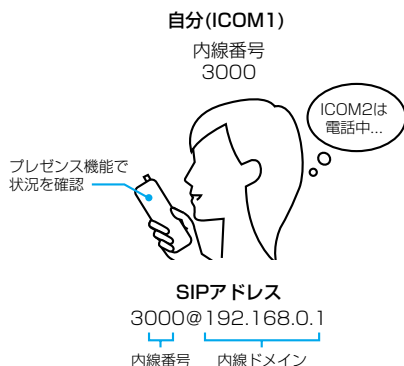
プレゼンス機能を使うと、登録されたメンバーの状況をFOMA端末で確認できます。本書では、子機として登録された2台のFOMA端末(☎下図)を例として説明します。

■メンバーを登録する

プレゼンス情報を表示させたいメンバーのSIPアドレスを確認して、次の手順で登録します。
(設定例：4000@192.168.0.1)

Step 1 電話帳に登録する

登録するメンバーのSIPアドレスなどを、自分のFOMA端末の電話帳に設定します。



Step 2 プレゼンスに登録する

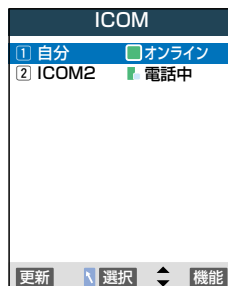
電話帳から、プレゼンスグループにメンバーを追加登録します。



相手の状況により、電話、インスタントメッセージ、メールなど、通信手段を選択できます。

状況表示について

- 状況表示は、オンライン(電源ON)/離席/取込中/会議中/休憩中/食事中/帰宅/外出中/出張中/オフライン(電源OFF)/電話中/不明などが用意されています。
- FOMA端末の[ステータス変更]では、自分の状況を手動で変更できます。また、オフライン(電源OFF)/電話中/不明は、自動的に変更されます。



3 プレゼンス機能を使う

Step 1

電話帳に登録する

1 待受画面 → 「メインメニュー」 → 「電話帳」 → 「電話帳登録」を選択します。

- 「電話帳登録」画面を表示します。

2 「名前入力/姓」を設定します。 (必要に応じて、「名前入力/名」も設定してください。)

3 「SIPアドレス入力」 → 「アイコン選択」を設定します。

4 「電話帳登録」画面で、「完了」を選択します。

- 電話帳の登録が完了すると、待受画面に戻ります。

3 機能を利用する

3 プレゼンス機能を使う

Step 2

プレゼンスに登録する

1 待受画面 → 「メインメニュー」 → 「プレゼンス」を選択します。

- 「プレゼンスグループ01」画面を表示します。

2 「機能」 → 「グループ編集」を選択します。



3 「機能」 → 「グループ名編集」を選択します。

- 「グループ名編集」画面で、任意の名称(設定例：ICOM)を設定します。

4 「機能」 → 「メンバー追加」 → 「名前検索」を選択します。

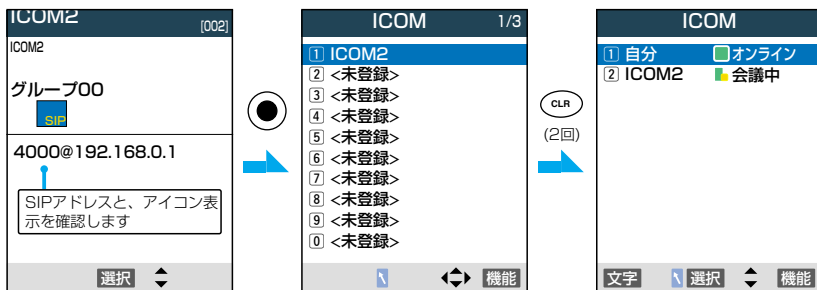
- 「名前検索」画面を表示します。



3 プレゼンス機能を使う

5 電話帳を選択すると、メンバーに追加されます。

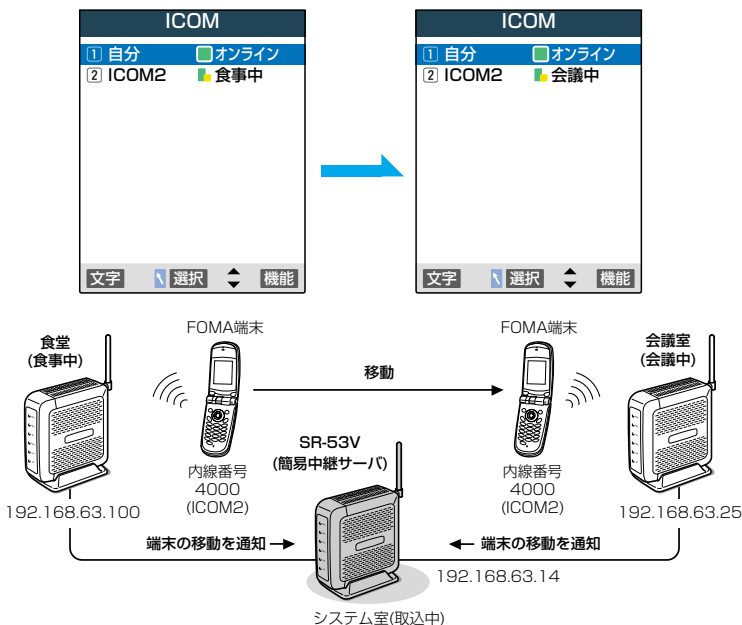
- 追加したメンバーは、「プレゼンス(設定例：ICOM)」で状況を確認できます。



位置情報機能を利用すると

- SR-53Vの位置情報機能により、FOMA端末が接続している無線アクセスポイント情報(状況)を表示できます。

※FOMA端末ごとに、SR-53V側の設定が必要です。(※P36)



3 機能を利用する

3 プレゼンス機能を使う

■ 位置情報機能を設定する

- 位置情報設定は、簡易中継サーバに登録しているFOMA端末の状態(位置/自動プレゼンス)を表示するために必要な設定です。
- 位置情報通知設定は、無線アクセスポイントごとに設置場所や自動プレゼンスを設定します。ホストアドレスには簡易中継サーバのIPアドレスを設定します。

1. 中継サーバ(SR-53V)側の設定

「電話設定」→「位置情報設定」

[登録の追加]項目で、登録するFOMA端末ごとに設定します。

1 [登録の追加]項目-[自動検出された端末]から、登録する子機を選択します。

登録の追加				
子機番号(名前)			MACアドレス	
1 (ICOM1) ▼				登録
自動検出された端末				
子機番号	名前	内線番号	MACアドレス	
1	ICOM1	3000	00-00-4C-1A-00-00	追加
2	ICOM2	4000	00-00-4C-1A-00-00	追加

クリック

- 「自動検出された端末」に登録したいFOMA端末が表示されていない場合は、子機番号を選択しMACアドレスを登録してください。

2 [登録済み端末]項目で、登録内容を確認します。

登録済み端末				
子機番号	名前	内線番号	登録済みMACアドレス	
1	ICOM1	3000	00-00-4C-1A-00-00	削除

MACアドレスの自動検出について

FOMA端末の接続するネットワークによっては、正しいMACアドレスを表示しない場合があります。その場合は、MACアドレスを手入力してください。

位置情報について

- 自動プレゼンス切替に対応する子機端末はFOMA端末だけで、VP-43は対応していません。
- プレゼンス状態や設置場所情報の更新には、10分ほど掛かる場合があります。
- プレゼンスや設置場所情報は、FOMA端末のプレゼンス表示または、SR-53Vの簡易サーバ情報画面で確認できます。
- 位置情報を確認できるのは中継サーバに登録している内線子機のみです。

3 プレゼンス機能を使う

■ 位置情報機能を設定する

2. 無線アクセスポイント側の設定

「システム設定」→「位置情報通知設定」

35ページの構成図を例として、弊社製無線アクセスポイント(192.168.63.25)の位置情報通知設定を説明します。

- 1 [位置情報通知設定]項目で、**設置場所**(任意)を入力します。

- 2 [位置情報通知設定]項目で、**設置場所の状況**を選択します。

- 3 [位置情報通知設定]項目で、**ホストアドレス**(簡易中継サーバ)を設定します。

- 4 「位置通知設定」画面の<登録>をクリックします。

- 「位置通知設定」画面で変更したすべての設定内容を有効にします。

3 機能を利用する

4 各機能の制約について

内線通話や外線通話をご利用いただくときは、次の機能制約についてご注意ください。

不在着信転送機能

不在着信転送は外線への発信となるため、SR-53V側に転送先までの料金が課金されます。

また、転送先が話中などで通話できない場合も、電話をかけた側にSR-53Vまでの通話料金が課金されます。

内線/外線通話機能

◎ 通話中に転送した場合、通話が終わって受話器を置いたときに呼出音が鳴ることがあります。

※受話器を上げて話中音やトーキーが聞こえた場合は、そのまま受話器を置いてください。

◎ 無線IP携帯から一般加入電話回線へ発信した場合、一部のフリーダイヤルにおいては2分以内に強制切断されることがあります。

◎ 内線や外線通話機能について、次のように対応しています。

機能	機能内容	対応
通常発信・着信・発信中断	通常通話	○
内線番号	[TEL]とSIP子機18台それぞれ任意の内線番号を登録	○
グループ番号	各内線に任意のグループ番号を割り当て、グループ番号宛てに一斉発信	○
発信番号通知	内線発信番号、外線発信番号、非通知	○
保留	端末保留	○
内線転送	[TEL]から内線へ転送	○
	FOMA N900iLから内線へ転送	○
外線転送	[TEL]から外線へ転送	○
	FOMA N900iLから外線へ転送	○
ピックアップ(代理応答)	内線端末からの代理応答	○※1
コールウェイティング	キャッチホン	×
パーク保留・パークピックアップ	保留呼を維持してパーク特番で保留・ピックアップ	○※2
会議通話	3人での通話	×
外線個別着信	ダイヤルイン割り当て	○※3
代表着信	代表構成	○※4
キャンブオン(通話予約)	内線通話予約	×
不在転送／不応答転送／ 圏外転送(無線子機)	子機端末不在(圏外)の場合に指定先番号へ転送	○※5

○：対応済み ×：未対応

※1 グループピックアップ・指定ピックアップ機能は対応していません。

※2 IP多機能電話以外でパーク保留をした場合、保留操作をした電話機が切断した時点で、他の電話機での応答通話が可能になります。

※3 外線(IP電話、アナログ電話回線)をそれぞれ任意の「子機」、「グループ」、「代表」と結びつけての着信・発信ができます。

※4 指定した子機への着信方法は、「順次(すべり)」、「巡回(着信ごとに違う端末を呼び出し)」、「一斉」から選択できます。

※5 不在着信転送先は外線だけ指定できます。

4

各機能の制約について

FOMA N900iLの機能

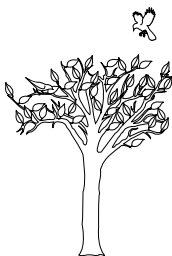
◎FOMA N900iL取扱説明書に記載の機能について、次のように対応しています。

機能	機能内容	対応
FOMA 音声電話	通常発信・着信・ 発信中断	通常通話 ○
WLAN 音声電話	受話音量	通話中の相手の声の大きさを調節する ○
	応答保留	すぐに出られないときに保留する ○
	ドライブモード	自動車運転中に電話を受けられないようにする ○
WLAN 音声電話	着信音選択 (着信なりわけ)	外線／内線からの呼び出しにより着信音を変える (弊社製VoIP機器「セレクト着信機能」) ×
	ステップコール	呼び出し内線先が話中のとき、 簡単な操作で呼び出し先を変えられる ×
	キャンプオン	呼び出し内線先が話中のとき、 相手の終話時に呼び出す ×
	コールウェイティング	呼び出し内線先が話中のとき、 相手の通話に割り込んで呼び出せる ×
	コールピックアップ	他の内線電話への呼び出しを内線特番で 代わって受ける ○
	保留・転送	FOMA N900iLから通話を他へ転送する ○
	パーク保留	通話中にパーク保留すると 他の内線電話で出られる ○
	会議通話	3人で通話する ×

○：対応済み ×：未対応

コールピックアップ(代理応答機能)

転送先の応答を確認しないで転送した場合(※P27)、転送先への呼び出しに応答できません。



この章では、
WLANブラウザを利用した、サービスメニューでの操作について説明しています。

サービスメニューを使う	42
■ サービスメニューにログインする	42
■ メールを確認するには	45
■ インスタントメッセージ(IM)を作成するには	47
■ VoIP電話帳を利用するには.....	48
■ 社員録を利用するには	49
■ リンク先を閲覧するには	50
■ メール通知転送設定を変更するには	51
■ 社員録設定を変更するには	52
■ CGI認証パスワードを変更するには	53

4 WLANブラウザを利用する

サービスメニューを使う

FOMA端末のWLANブラウザやパソコンのWWWブラウザから、本製品の「サービスメニュー」*を利用できます。

※必要に応じて、表示するタイトル(出荷時の設定：サービスメニュー)を、SR-53V側で設定します。

※FOMA端末からアクセスしたときの画面を例として、説明しています。

■ サービスメニューにログインする

ログインすると、メールや電話帳などの確認、メールや社員録などを設定できます。

こんなときは

- ログインしてから15分間アクセスがないと、自動的にログアウトします。
その場合は、ログインし直してください。
- SR-53Vの[電話設定]→[簡易サーバ設定]→[子機内線設定]で、個体識別情報を設定しているときは、パソコンからアクセスできません。

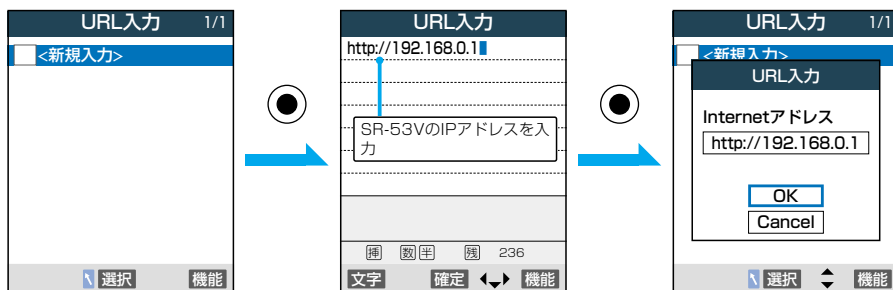
WLANブラウザでログインする

「待受画面」→「メインメニュー」→「WLANブラウザ」→「サービスメニュー」

1 待受画面 → 「メインメニュー」 → 「WLANブラウザ」 → 「URL入力」を選択します。

- 「URL入力」画面を表示します。

2 「新規入力」 → 「URL入力」 → 「OK」を選択します。



サービスメニューを使う

3 「OK」→「CGI認証ID」→「編集」で、CGI認証IDを入力します。

The sequence shows the user navigating from the URL input screen to the login screen, and then to the edit screen for the CGI authentication ID. The edit screen shows the current value '3000' and a prompt to enter the ID set in SR-53V.

4 「パスワード」→「Password」で、パスワードを入力します。

The sequence shows the user entering the password. The password screen displays masked characters '****' and a prompt to enter the password set in SR-53V. The final login screen shows both the CGI authentication ID and the password entered.

5 「ログイン」を選択します。

The sequence shows the user selecting the login button, which leads to the ICOM SR-53V service menu. The menu lists several options, with 'ログイン: ICOM1' being the first option.

4 WLANブラウザを利用する

サービスメニューを使う

■ サービスメニューにログインする

WWWブラウザでログインする

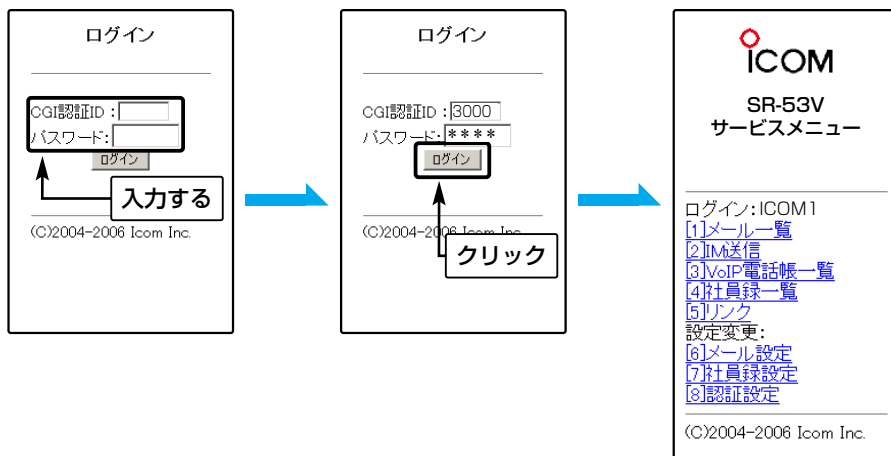
「WWWブラウザ」→「ログイン」→「サービスメニュー」

- 1 WWWブラウザを起動します。
- 2 WWWブラウザのアドレスバーに
「http://192.168.0.1/login.cgi」と入力し、[Enter]キーを押します。



- SR-53VのLAN側IPアドレス(設定例：192.168.0.1)だけを入力した場合は、ログインできません。

- 3 「CGI認証ID」→「パスワード」を入力します。



サービスメニューを使う

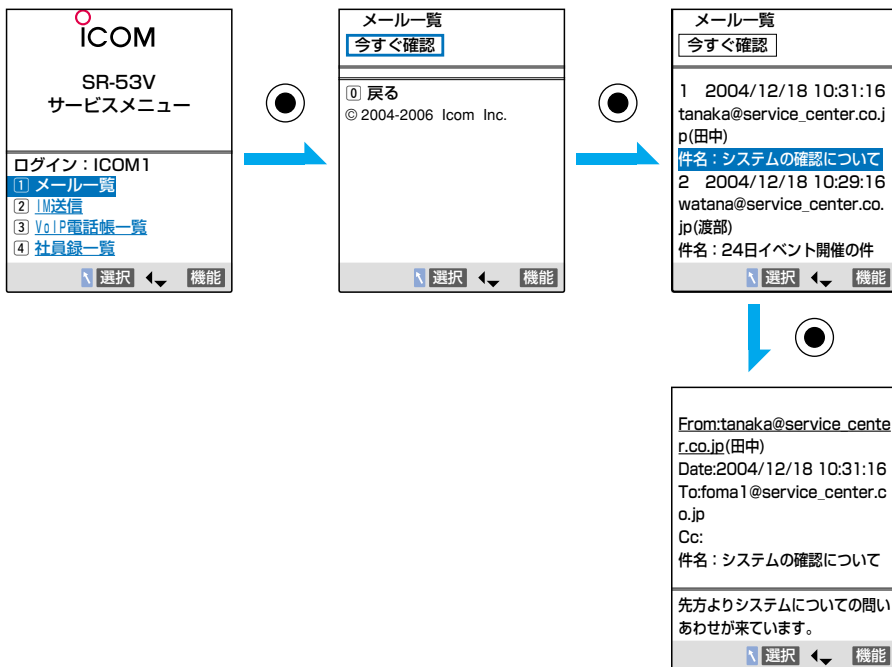
■ メールを確認するには

SR-53Vの「メール通知転送設定」(※活用編)で設定した、受信メールサーバ(POP)に届いているメールを確認または返信できます。

「メール一覧」画面で確認する

「サービスメニュー」→「メール一覧」

「メール一覧」→「今すぐ確認」→「件名」を選択します。



メールの表示/閲覧について

- 最新メールを最大5件(テキスト情報だけ)まで表示します。表示された内容は、古いものから順番に削除されます。
- WLANブラウザ(FOMA端末)で確認する前に、パソコン側でメールを閲覧したり、「メールサーバにコピーを保存しない」に設定しているときは閲覧できません。

4 WLANブラウザを利用する

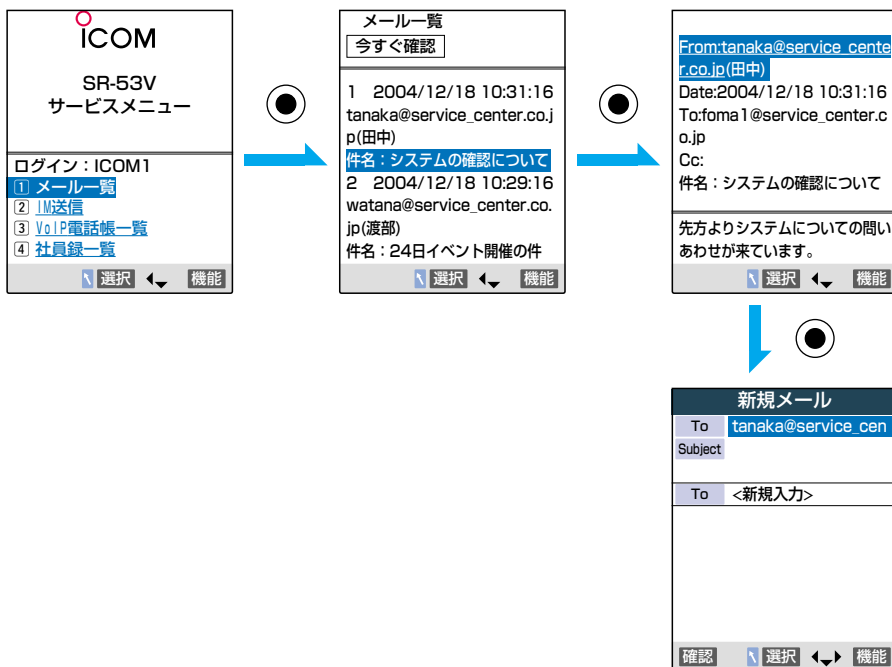
サービスメニューを使う

■ メールを確認するには

「メール一覧」画面から返信する

「サービスメニュー」→「メール一覧」→「新規メール」

「メール一覧」→「件名」→「From(送信元)」を選択します。



メール編集画面について

- FOMA端末の場合、「新規メール(iモードメール)」画面を表示します。
メール編集について、詳しくはFOMA® N900iL取扱説明書[アプリケーション編]をご覧ください。
- パソコンの場合、メーラーが起動して「メッセージの作成」画面を表示します。

サービスメニューを使う

■ インスタントメッセージ(IM)を作成するには

インスタントメッセージ(IM)を送信できます。

インスタントメッセージ(IM)について

- [宛先:]を選択すると、SR-53Vに登録されている子機(宛先)からインスタントメッセージ作成時の宛先名称を指定できます。
- [指定時:]を選択すると、内線番号、グループ番号、VoIP電話帳の電話番号を指定できます。
- インスタントメッセージについて、詳しくはFOMA® N900iL取扱説明書[アプリケーション編]をご覧ください。

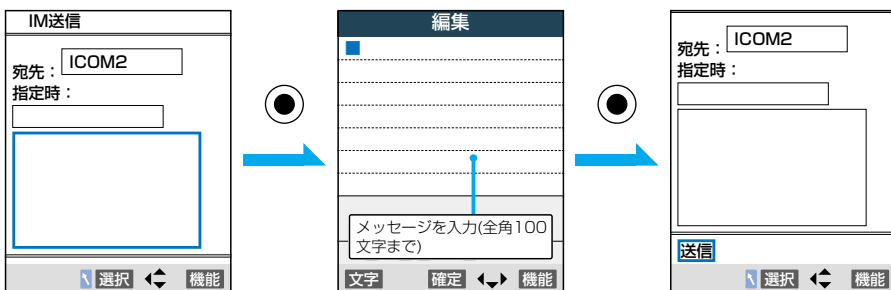
「IM送信」画面から送信する

「サービスメニュー」→「IM送信」→「編集」

1「IM送信」→「宛先(または指定時)」→「電話番号指定」を選択します。



2「テキストボックス」→「編集」→「送信」を選択します。



3「送信しました。」を表示したら、送信完了です。

- [TOPページへ]を選択すると、「サービスメニュー」画面に戻ります。

4 WLANブラウザを利用する

サービスメニューを使う

■ VoIP電話帳を利用するには

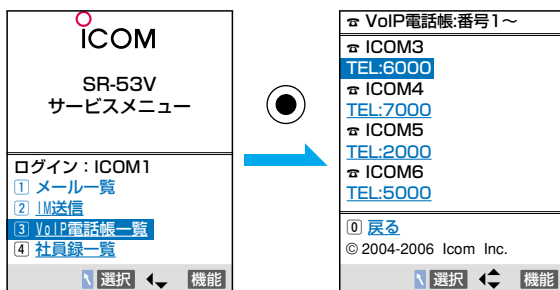
SR-53VのVoIP電話帳に登録されている宛先を選択し、発信できます。

※WWWブラウザ(パソコン)でログインしたときは、VoIP電話帳を閲覧できるだけです。

「VoIP電話帳」画面を一覧する

「サービスメニュー」→「VoIP電話帳一覧」→「VoIP電話帳」

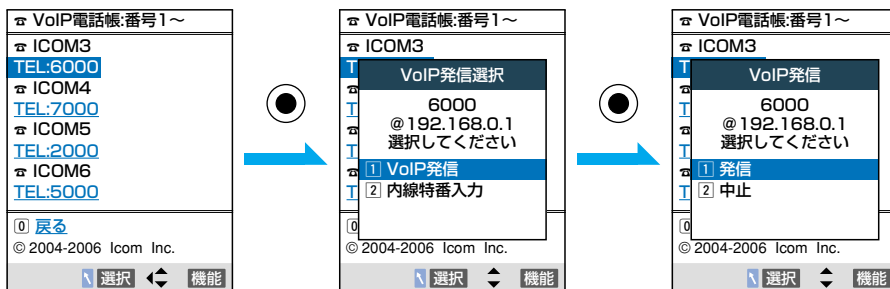
「VoIP電話帳一覧」を選択します。



「VoIP電話帳」画面から発信する

「VoIP電話帳」→「VoIP発信選択」→「VoIP発信」

「VoIP発信」→「発信」を選択します。



表示されるVoIP電話帳は

SR-53Vの[電話設定]→[VoIP電話帳]で登録された内容です。

サービスメニューを使う

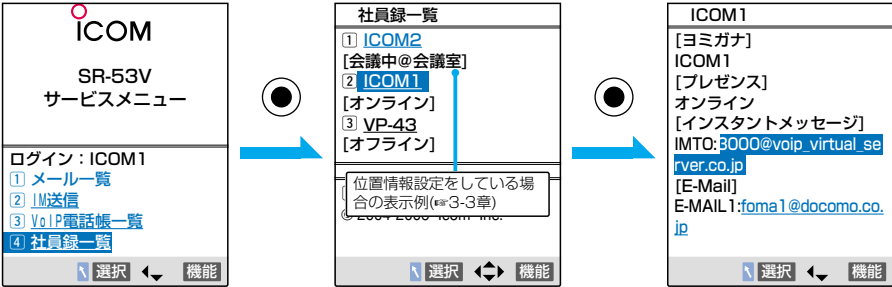
■社員録を利用するには

SR-53Vに登録されている社員(子機)を選択し、メールやインスタントメッセージ(IM)の送信、電話をかけたりできます。

※WWWブラウザ(パソコン)でログインしたときは、「社員録一覧」画面の登録内容の確認、メール送信ができます。

「社員録一覧」画面を一覧する
「サービスメニュー」→「社員録一覧」→「詳細情報」

「社員録一覧」で、登録されている子機を選択します。



表示された詳細情報の各項目について

ヨミガナ	読みがなを表示
プレゼンス	指定した端末の状態を表示
インスタントメッセージ (FOMA端末)	インスタントメッセージ用アドレスを表示 選択すると、「新規IM」画面を表示
E-Mail (FOMA端末)	メールアドレスを表示 選択すると、「新規メール(iモードメール)」画面を表示
(パソコン)	選択すると、メーラーが起動して「メッセージの作成」画面を表示
外線 (FOMA端末)	外線電話番号を表示 選択すると、「発信種別選択」画面を表示
内線 (FOMA端末)	内線で通話するためのSIP URIを表示 選択すると、「VoIP発信選択」画面を表示

4 WLANブラウザを利用する

サービスメニューを使う

■ リンク先を閲覧するには

インターネットホームページを表示できます。

「リンク」画面からインターネットへ接続する

「サービスメニュー」→「リンク」

「リンク」→「リンク先(1～4)」を選択します。



閲覧するときは

- インターネットへ接続できるかどうかは、接続するネットワークの設定によります。
- SR-53Vに登録しているリンクを利用するため、URLの入力を省略できます。
- データ量の大きいページに接続した場合などは、読み込み中止を操作すると、通信を中断できます。

サービスメニューを使う

■ メール通知転送設定を変更するには

SR-53Vの[メール通知転送設定](*活用編)の設定内容を変更できます。

「メール設定」画面で設定を変更する

「サービスメニュー」→「メール設定」→「メール通知転送設定」→「メールフィルタ設定」

タイトルの先頭に[spam]があるメールを無視する設定を例として説明します。

- 1 「メール設定」→「メール通知転送設定」→「フィルタNo.1」を選択します。
 - 「フィルタNo.1」画面を表示します。

- 2 「フィルタNo.1」の項目を設定します。

■フィルタ No.1

Subjectの

先頭が

と一致するとき

表示する

登録

選択 機能

→

■フィルタ No.1

Subjectの

先頭が

[spam]

と一致するとき

[spam]と入力します

表示

登録

選択 機能

→

■フィルタ No.1

Subjectの

先頭が

[spam]

と一致するとき

無視する

登録

選択 機能

- 3 「登録」を選択します。
 - 変更内容がSR-53Vに登録されます。

- 4 「フィルタNo.1」→「メール通知転送設定」に戻り、フィルタNo.1を有効にします。
 - 変更内容がSR-53Vに登録されます。

先頭が

[spam]

と一致するとき

無視する

登録

戻る

© 2004-2006 Icom Inc.

選択 機能

→

■メールフィルタ設定

・フィルタ No.1

○使用しない ●使用する

・フィルタ No.2

○使用しない ●使用する

・「使用する」を選択

・「使用する」を選択

・フィルタ No.4

○使用しない ●使用する

・フィルタ No.5

○使用しない ●使用する

選択 機能

→

・フィルタ No.4

○使用しない ●使用する

・フィルタ No.5

○使用しない ●使用する

・該当しないメールを

転送+表示する

登録

戻る

© 2004-2006 Icom Inc.

選択 機能

※「使用する」を設定しないと、設定した「フィルタNo.1」の内容は有効になりません。

4 WLANブラウザを利用する

サービスメニューを使う

■社員録設定を変更するには

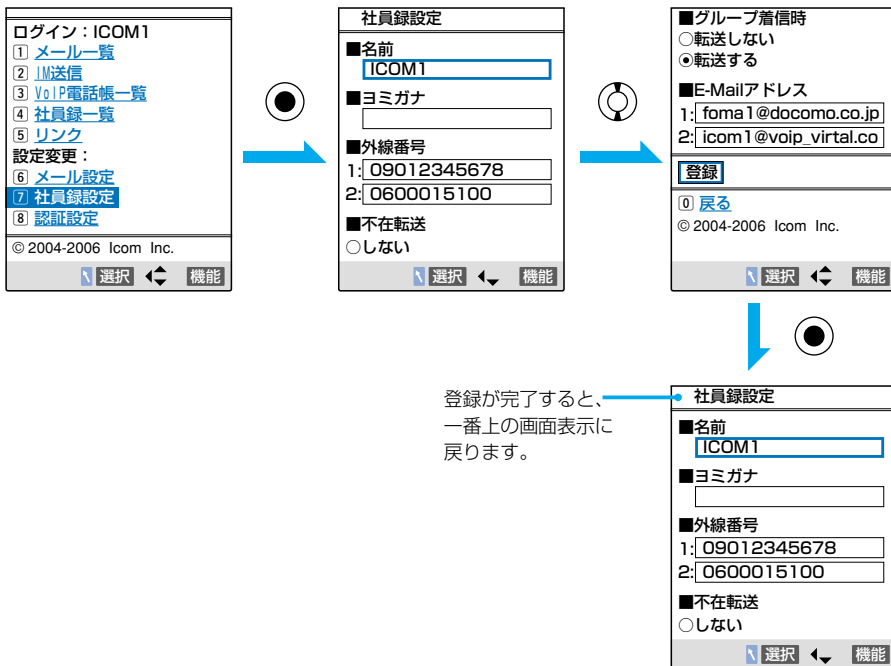
SR-53Vの[子機内線詳細情報設定](※活用編)の設定内容を変更できます。

※設定が変更できるのは、指定するCGI認証IDでログインしたとき表示される情報だけです。

「社員録設定」画面で設定を変更する

「サービスメニュー」→「社員録設定」

「社員録設定」で、FOMA端末ごとの設定内容(不在転送先など)を変更します。



サービスメニューを使う

■ CGI認証パスワードを変更するには

SR-53Vの[子機内線設定]→[CGI認証]([※]活用編)で設定したパスワードを変更できます。
※設定が変更できるのは、指定するCGI認証IDでログインするためのパスワードだけです。

「認証設定」画面からパスワードを変更する

「サービスメニュー」→「認証設定」

1 「認証設定」→「旧パスワード」→「Password」で、現在のパスワードを入力します。

The diagram illustrates the first step of the password change process. It starts with the 'サービスメニュー' (Service Menu) screen, where '認証設定' (Authentication Settings) is selected. This leads to the '認証設定' (Authentication Settings) screen, where '旧パスワード' (Old Password) is selected. This then leads to the 'Password' input screen, where the current password is entered. A callout box on the 'Password' screen states: 'SR-53V側で設定したパスワードを入力します' (Enter the password set on the SR-53V side). The bottom of the screens shows navigation buttons: '選択' (Select), '戻る' (Back), and '機能' (Function).

2 「新パスワード」→「Password」で、新しいパスワードを入力します。

The diagram illustrates the second step of the password change process. It starts with the '認証設定' (Authentication Settings) screen, where '新パスワード' (New Password) is selected. This leads to the 'Password' input screen, where the new password is entered. A callout box on the 'Password' screen states: '新しいパスワードを入力します' (Enter the new password). The bottom of the screens shows navigation buttons: '選択' (Select), '戻る' (Back), and '機能' (Function).

3 「登録」を選択します。

「パスワードを変更しました。」を表示したら、SR-53Vに登録完了です。
[TOPページへ]を選択すると、「サービスメニュー」画面に戻ります。

高品質がテーマです。

